

森の大切さ 教わった 木材工場に大和北小5年生



社員の手助けでボルトを締める体験をする児童＝郡上市大和町で

郡上市大和北小学校の五年生が二十六日、同市大和町島の建設業ヤマシタ工務店プレカスト工場を見学した。工場では、製材された木材から住宅用建築材を作っている。同校は木材加工を通じて森林や環境を学ぼうと、初めて工場を訪れた。石田幸次常務が児童二十五人と教師に「木を植え、真っすぐになるよう育て、伐採できるようにするには五十

年以上かかる。森は二酸化炭素(CO₂)を吸収し地球環境も守ってくれる」などと話した。児童は同社が用意した木製ペン立てを磨いて仕上げたり、電動工具でボルトを締めたりした。

山田優磨君は「いろいろな木の勉強ができた」と話していた。

(河北直行)